



## 2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月12日

上場会社名 RPAホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6572 URL http://rpa-holdings.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 知道  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松井 哲史 TEL 03 (3560) 4880  
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第1四半期の連結業績 (2019年3月1日～2019年5月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	2,123	19.0	169	△14.6	125	△36.1	51	△58.7
2019年2月期第1四半期	1,784	—	198	—	196	—	124	—

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 51百万円 (△58.7%) 2019年2月期第1四半期 124百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	1.89	1.66
2019年2月期第1四半期	4.85	4.35

(注) 1. 当社は、2018年2月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。  
 2. 当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	18,034	12,511	69.3
2019年2月期	9,644	5,647	58.2

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 12,503百万円 2019年2月期 5,617百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年2月期	—	—	—	—	—
2020年2月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2020年2月期の連結業績予想 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	5,688	56.0	419	22.6	388	15.8	211	0.5	7.87
通期	14,016	71.2	1,603	67.9	1,561	71.9	931	66.6	34.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期1Q	28,770,000株	2019年2月期	26,850,000株
② 期末自己株式数	2020年2月期1Q	－株	2019年2月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期1Q	27,296,707株	2019年2月期1Q	25,779,890株

(注) 1. 当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、企業業績や雇用環境に改善が続いており、引き続き緩やかな回復基調が続いているものの、米中の貿易摩擦による景気減速懸念等、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域であるRPA市場は、引き続き新聞、雑誌、WEB媒体で掲載されるなど注目度は高く、市場環境は依然良好な状況が続いております。

こうした環境の中で、当社グループは、既存顧客案件の継続・追加及び新規顧客案件の獲得に注力し、引き続き成長を遂げております。また、組織体制強化のための人材採用、更なる成長に向けた広告宣伝活動に取り組みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,123百万円（前年同四半期比19.0%増）、営業利益は169百万円（前年同四半期比14.6%減）、経常利益は125百万円（前年同四半期比36.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は51百万円（前年同四半期比58.7%減）となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

#### ロボットアウトソーシング事業

ロボットアウトソーシング事業においては、既存顧客による「BizRobo!」の追加導入、及び直接販売、パートナー販売による新規顧客への「BizRobo!」の新規導入が引き続き順調に推移しました。

その結果、売上高は832百万円（前年同四半期比8.3%増）、セグメント利益（営業利益）は92百万円（前年同四半期比60.5%減）となりました。

#### ロボットトランスフォーメーション事業

ロボットトランスフォーメーション事業においては、人材サービス関連の既存分野は順調に広告主の利用が拡大するとともに、人材サービス関連以外の新規分野へも参入、展開した結果、順調に業績を伸ばしました。

その結果、ロボットトランスフォーメーション事業では、売上高は1,226百万円（前年同四半期比36.1%増）、セグメント利益（営業利益）は193百万円（前年同四半期比187.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は15,312百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,742百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が7,691百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,722百万円となり、前連結会計年度末に比べ647百万円増加いたしました。これは主にのれんの計上によるものであります。

この結果、総資産は18,034百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,390百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,426百万円となり、前連結会計年度末に比べ826百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は2,097百万円となり、前連結会計年度末に比べ699百万円増加いたしました。これは主に社債が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,523百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,526百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は12,511百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,863百万円増加いたしました。これは主に新株予約権の行使に伴う新株発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,417百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は69.3%（前連結会計年度末は58.2%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月15日の決算短信で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,875,886	13,567,455
受取手形及び売掛金	1,416,604	1,089,087
仕掛品	6,388	5,225
その他	271,542	650,968
貸倒引当金	△660	△464
流動資産合計	7,569,762	15,312,272
固定資産		
有形固定資産	66,758	66,851
無形固定資産		
のれん	1,185,704	1,618,701
ソフトウェア	482,135	466,471
ソフトウェア仮勘定	—	46,733
その他	72	72
無形固定資産合計	1,667,913	2,131,978
投資その他の資産	340,269	523,797
固定資産合計	2,074,941	2,722,627
資産合計	9,644,703	18,034,900
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	664,656	761,390
短期借入金	200,000	1,000,000
1年内償還予定の社債	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	411,280	244,600
未払法人税等	375,543	106,936
賞与引当金	78,534	47,706
変動報酬引当金	124,886	50,806
その他	745,388	1,015,309
流動負債合計	2,600,289	3,426,749
固定負債		
長期借入金	1,397,076	1,297,050
社債	—	800,000
固定負債合計	1,397,076	2,097,050
負債合計	3,997,365	5,523,799
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,148,640	5,565,799
資本剰余金	2,284,759	5,701,918
利益剰余金	1,184,464	1,236,020
株主資本合計	5,617,864	12,503,739
新株予約権	29,473	7,361
純資産合計	5,647,338	12,511,100
負債純資産合計	9,644,703	18,034,900

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	1,784,394	2,123,735
売上原価	1,159,027	1,292,975
売上総利益	625,367	830,759
販売費及び一般管理費	426,540	660,968
営業利益	198,826	169,791
営業外収益		
為替差益	98	—
その他	277	203
営業外収益合計	375	203
営業外費用		
支払利息	1,339	7,982
支払手数料	—	14,992
株式交付費	189	12,208
株式公開費用	1,356	—
社債発行費	—	8,568
為替差損	—	249
その他	—	558
営業外費用合計	2,886	44,560
経常利益	196,316	125,433
税金等調整前四半期純利益	196,316	125,433
法人税等	71,406	73,878
四半期純利益	124,910	51,555
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,910	51,555

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	124,910	51,555
四半期包括利益	124,910	51,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,910	51,555
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年11月5日に発行いたしました第5回新株予約権（行使価額修正条項・下限行使価額修正選択権及び行使許可条項付）の権利行使に伴う新株式発行により、当第1四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ3,417,159千円増加しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が5,565,799千円、資本剰余金が5,701,918千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ロボット アウトソー シング事業	ロボット トランス フォーメ ーション 事業	計			
売上高						
外部顧客への 売上高	768,409	900,755	1,669,164	115,230	—	1,784,394
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	33,799	33,799	5,300	△39,099	—
計	768,409	934,554	1,702,964	120,530	△39,099	1,784,394
セグメント利益 又は損失(△)	233,669	67,418	301,087	△9,671	△92,588	198,826

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業及びコンサルティング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△92,588千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ロボット アウトソー シング事業	ロボット トランス フォーメ ーション 事業	計			
売上高						
外部顧客への 売上高	832,350	1,226,264	2,058,614	65,120	—	2,123,735
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	83,400	41,000	124,400	37,290	△161,690	—
計	915,750	1,267,264	2,183,015	102,410	△161,690	2,123,735
セグメント利益	92,321	193,823	286,144	23,762	△140,115	169,791

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業及びコンサルティング事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△140,115千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。